

産業能率大学通教校友会 新潟支部

会報誌 産能にいがた



第 9 号

2018年2月発行 文責:新潟支部事務局長 関根芳美 メール:niigata@sanno-uda.jp
TEL0258-83-3048 fax0258-83-3049 社会保険労務士法人せきね事務所内

第4回 定期総会&卒業を祝う会 開催!

平成29年6月24日、刈羽村生涯学習センターラピカにおいて定期総会が開催されました。設立5年目の新潟支部の運営は順調です。特に短大校友会との連携や学生も参加する女子会などALLSANNOとしての活動は全国的にも注目されています。引き続き、支部活動にご協力をお願いします。



柏崎・刈羽原子力発電所 見学の様子

総会后、再稼働に注目の集まる原発の見学ツアーを実施しました。はじめに、1/5スケールの原子炉模型などで原発の仕組みなどについて説明を受け、見学用のバスで広大な柏崎刈羽原発の敷地内へ案内されました。



「写真撮影禁止」の厳重な警備の中、福島第一の事故を受け格段の向上が図られた安全対策を見学。

最後に、東電の広報担当者から、柏崎刈羽原発の歴史や現状、安全対策に関する説明を受けました。参加者の大半が原発圏内30km以内居住ということで、『再稼働は安全か』『北朝鮮からの攻撃を受けたら』などたくさん質問が出て、非常に有意義な時間を過ごしました。



卒業を祝う会の様子

同日、夕方から柏崎駅近くの異国風居酒屋「らくだや」を貸し切り、卒業を祝う会を開催。卒業生の服部慎也さんを囲み、ワイワイと柏崎の夜を楽しみ、懇親を深めました。



「大学で学ぶことへの想い」 服部 慎也

私は高校卒業後、専門学校を経て社会人として働きはじめました。仕事をやる上で特に学歴を意識するような場面はなかったものの、ずっと大卒でないというコンプレックスを心の奥底に抱えたままにいました。また、同じ会社に勤務する同世代や後輩の大卒、院卒者たちと接していると、仕事に対する高い意識や、物事に対する洞察や知見といった部分で「やはり大卒者は自分とは違うな」と感じるようになり、次第に憧れのようなものを抱くようになりました。とは言え、既に社会に出て何年も経つ私が大学に入り直すことは、時間的にも費用的にも非現実的なことと思いついており、具体的な行動には至りませんでした。

それから年月が経ち、ある方と知り合う機会がありました。その方は私がお世話になった簿記学校の校長なのですが、歳が近いこともあって親しくなり、身の上話のようなこともするようになりました。ある時、大学で学ぶことへの想いを口にしたら、社会人でも産能大の通信教育という方法があること、自身も産能大の通教卒業生であることを教えて頂きました。その話を聞いた瞬間「これだ！」と思い、すぐに入学手続きを取りました。長年抱えていた、もやもやしたものが吹き飛んだような気持でした。

地方在住の社会人にとって、自習主体の勉強や遠方へのスクーリングは確かに大変な面はありましたが、それよりも大学で学んでいるという充実感や、単位を取った時の達成感、何よりスクーリングや学生会で、私と同じ想いを抱いていた仲間に出会えたことは、本当にかげがえのないものでした。

このような素晴らしい体験を与えてくれた産能大学の発展に、これからも校友会活動などを通じて寄与できればと思っています。



H30.1.27 支部長・事務局長会議

～校友会活動を活性化するために～

こんにちは、支部長の桐生達子です。

毎年恒例の支部長・事務局長会議に出席してきました。

今回は新設の『千葉支部』『埼玉支部』を含め全国14支部と都道府県の枠を超えて横断的に活動する『産業能率会』と

『めぐろ会』2つのグループ同好会の出席がありました。新たに設立された支部をはじめ各支部の代表者から、会員数を増やすために取り組みや現在の問題点について活発な議論がなされました。学校側からは、新たな取り組みとして『SANNO 夜活講座』を2018年2月と3月に丸の内(JR東京駅徒歩1分)にある大学のセミナールームで開催されます。19時から21時の退社後の時間にヨガからワインの楽しみ方の採用面接術など計18回行われますので、興味のある方は、『SANNO 夜活講座』で検索してみてください。現在進められている各校友会(大学通学課程・大学通信課程卒業生・短大課程卒業生)の活動を一緒に盛り上げて行く全体『ALL SANNO連合会設立』の動きについて説明がありました。新潟で行われている女子会(雪椿会)が短大と大学と一緒に横断的に活動していることについて他県から質問があり、アピールしてきました。



3月10日(土)開催の「波登かおり先生講演会」など、各イベントのご案内を同封しています。奮ってご参加ください。